

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
以	1	以緒	たか袖の	和歌	「薄殿 たか袖の」	打曇	130	10	B	
	2	以量	秋ふかき	和歌	「薄殿 秋ふかき」	打曇	130	9	B	
伊	3	伊長	あふ坂の	和歌	「甘露寺殿 あふ坂の 題為廣卿」	打曇	120	96		
	4	伊長	おりおりの	和歌	「甘露寺殿」	打曇	130	134		
	5	伊長	月ふくる	和歌	「甘露寺殿 月ふくる」	打曇	179	150		
為	6	為右	たちかへり	和歌	「二条家為右朝臣 たちかへり」	素紙	130	90	B	
	7	為益	いつしかと	和歌	冷泉為益	打曇	78	93		
	8	為益	をはすての	和歌	「冷泉殿をはすての」	打曇	130	64		
	9	為学	古寺の	和歌	「五條殿 古寺の」	打曇	47	5		
	10	為学	わくる野の	和歌	「五條殿 わくる野の」	打曇	120	118		
	11	為学	日かすふる	和歌	正三位五條式部大輔為学(貼紙)	打曇	129	131		
	12	為学	いにしへの	和歌	「五條殿 いにしへの」	打曇	130	35	B	
	13	為学	草まくら	和歌	「五條殿 草まくら」	打曇	179	186		
	14	為賢	六の道	和歌	藤谷殿	打曇	78	86		
	15	為孝	たのますよ	和歌	「下冷泉殿 たのますよ」	打曇	130	67		
	16	為親	咲出る	和歌	「中山冷泉殿 咲出る 題為満卿」	打曇	130	69		
	17	為忠	立かへり	和歌	「二条家 立かへり」	素紙	130	89	B	
	18	為仲	うくひすの	和歌	「五辻殿 うくひすの」	打曇	130	28	B	
	19	為富	さためそめし	和歌	「下冷泉殿 さためそめし」	打曇	130	61		
	20	為豊	草の原	和歌	「下冷泉殿」	打曇	130	68		
	21	為満	月影に	和歌	「冷泉殿 月影に」	打曇	130	62		
	22	為満	なをさりに	和歌	「冷泉殿 なをさりに」	打曇	130	65		
	23	為良	しほれふす	和歌	「五條殿」	打曇	130	36	B	
	24	為和	さらに今	和歌	「上冷泉殿 さらに今」	打曇	130	63		
惟	25	惟房	谷の戸は	和歌	「万里小路殿惟房卿 谷の戸は」	打曇	130	146		
一	26		君かへん	和歌	「北條殿一睡 君かへん」	打曇、金描	179	212		
尹	27	尹豊	ぬれそめし	和歌	「勸修寺殿 ぬれそめし」	打曇	130	138		
栄	28	栄雅	ねくたれの	和歌	「飛鳥井殿 雅親卿御法名 ねくたれの」	打曇、金描	96	23		
	29	栄雅	すみれさく	和歌	元祖飛鳥井殿雅親卿 法名栄雅(朱書)	打曇、金描	129	22		
	30	栄雅	女郎花	和歌	「飛鳥井殿 女郎花」	打曇	130	76		
	31	栄雅	かつちるを	和歌	「梶(ママ)鳥井殿 かつちるを」	打曇	179	177		
	32		夏色夏聲夏香	一行書	「飛鳥井殿雅親卿 法名栄雅 夏色」	打曇	179	176		
	33	栄清	朝ねかみ	和歌	栄清 朝ねかみ(付箋)	打曇	120	6		
永	34	永喜	みるきくも	和歌	「林永喜 みるきくも 題雅庸卿」	打曇、金銀描	6	11		
	35	永家	月影も	和歌	「高倉殿 月影も」	打曇	130	2	B	
	36	永孝	をしかもの	和歌	「高倉殿 をしかもの」	打曇	130	4	B	

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	37	永宣	朝戸あけて	和歌	高倉冷泉殿 朝戸あけて 題名乗短冊(付箋)	打曇	120	67		
	38	永宣	なをふかき	和歌	「高倉殿」	打曇	130	6	B	
	39	永相	つかむにも	和歌	「高倉殿 つかむにも」	打曇	130	3	B	
	40	永相	春ことに	和歌	「高倉殿 春ことに」	打曇	179	83		
遠	41	遠忠	あまの川	和歌	大和ノ人 十市遠忠	打曇	53	40		
	42	遠忠	とふ人も	和歌	「和州十市殿 とふ人も」	打曇、金箔、下絵	130	108	B	
	43		はらへとも	和歌	「十市太守仲原遠忠 はらへとも」	打曇	120	26		
	44		すゝしやと	和歌	「十市殿遠忠 すゝしやと」	打曇	179	217		
円	45		宮城野の	和歌	「南都圓空上人 宮城野の」	打曇	120	22		
雅	46		天の原	和歌	「白河殿 雅喬王 天の原」	打曇、金描・霞	179	42		
	47	雅教	いく秋を	和歌	「飛鳥井殿」	打曇	130	79		
	48	雅業	それたにも	和歌	「白河殿 それたにも」	打曇	130	13	B	
	49	雅業	花鳥を	和歌	「白河殿 花鳥を」	打曇	179	41		
	50	雅継	今朝ははや	和歌	「飛鳥井殿 今朝ははや」	打曇	120	59		
	51	雅行	まかきより	和歌	「庭田殿 まかきより」	打曇	130	20	B	
	52	雅綱	とゝまらぬ	和歌	「飛鳥井殿」	打曇	130	78		
	53	雅綱	かひなしや	和歌	「飛鳥井殿 かひなしや」	打曇	179	95		
	54	雅枝	遠近の	和歌	「飛鳥井殿 遠近の」	打曇	179	154		
	55	雅俊	夕日さす	和歌	「飛鳥井殿 夕日さす」	打曇	130	77		
	56	雅俊	よそにては	和歌	「飛鳥井殿 よそにては」	素紙	512	40		
	57	雅庸	言の葉を	和歌	「飛鳥井殿」	打曇	130	80		
覚	58	覚胤	たれもみる	和歌	「妙法院殿」	打曇	130	53	B	
	59	覚圓	一ふしの	和歌	「曼殊院殿 一ふしの」	打曇、金霞	120	13		
	60	覚恕	遠き江の	和歌	「曼殊院殿 遠き江の」	打曇	130	57	B	
	61		夜もすから	和歌	「仁和寺殿覚道法親王 後柏原院皇子 夜もすから」	打曇	120	9		
	62		君か世は	和歌	「君か世は 一乗院覚誉」	打曇	120	16		
眼	63	眼阿	わすれすよ	和歌	「七條道場時宗 眼阿 わすれすよ 題有名」	素紙	152	45		
季	64	季遠	うつもれて	和歌	「四辻殿」	打曇	130	89		
	65	季熙	山ちかき	和歌	「小倉殿 山ちかき」	打曇	130	95		
	66	季経	よそにまた	和歌	「四辻殿 よそにまた」	打曇	130	93		
	67	季経	夏くれは	和歌	「四辻殿庶流季経卿」	打曇	179	152		
	68	季春	わすれはや	和歌	「四辻殿」	打曇	130	92		
基	69	基規	ふけゆけは	和歌	「持明院殿」	打曇	130	100		
	70	基継	しはふより	和歌	「園殿 しはふより」	打曇	130	102		
	71	基綱	うとき人も	和歌	「姉小路殿 うとき人」	打曇	130	7	B	
	72	基孝	池水に	和歌	「持明院殿基孝卿 池水に」	打曇	120	79		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	73	基孝	さくとみし	和歌	「持明院殿 さくとみし」	打曇	130	101		
	74	基孝	遠方の	和歌	「持明院殿 遠方の 題冷泉為満卿」	打曇	152	56		
	75	基春	いそくにも	和歌	「持明院殿 いそくにも」	打曇	130	99		
	76	基任	宿ちかく	和歌	「園殿 宿ちかく」	打曇	130	103		
輝	77	輝資	こゝろあらは	和歌	「日野殿輝資卿 こゝろあらは」	打曇、金銀描、金霞	120	75		
	78	輝資	朝な朝な	和歌	「日野殿 朝な朝な」	打曇	130	119		
	79	輝資	吹捨し	和歌	「日野殿 吹捨し 題飛鳥井殿雅春卿」	打曇	179	170		
	80	輝元	年経ても	和歌	「毛利殿」	金描・墨画	35	5		
義	81	義輝	世にもれて	和歌		打曇、金銀描・霞	46	2		
	82	義教	浪まより	和歌	「普光院殿義教公御筆」	打曇	130	94	B	
	83		たか袖に	和歌	「朝倉義景 たか袖に」	茶地、金描・霞	32	39		
	84	義俊	山鳥の	和歌	「大覚寺殿 山鳥の」	打曇	130	43	B	
	85	義尚	玉すたれ	和歌		打曇	32	4		
	86	義尚	楽波や	和歌	「常德院殿 楽波や」	打曇	130	96	B	
	87		とをさかる	和歌	「常德院殿義尚公 とをさかる」	白地、金描、好み	120	25		
	88		春日のゝ	和歌	「室町殿義昭公 春日のゝ」	打曇、金銀描	120	24		
	89	義尋	みな人の	和歌	「大乘院殿 みな人の」	白	2	86		
	90	義政	なには江に	和歌	「慈照院殿 なには江に」	打曇	130	95	B	
	91	義澄	いまより八	和歌	「法住院殿 いまより八」	打曇、金描	130	97	B	
教	92	教國	ゆきなれて	和歌	「滋野井殿」	打曇	130	84		
	93	教秀	はるはると	和歌	「勸修寺殿 はるはると」	打曇	130	136		
	94	(花押)	不思議の徳を	法語	「本願寺教如上人 不思議の徳を」	茶地	23	37		
行	95	行空	君か代に	和歌	「九條殿植通公 御法名 君か代に」	打曇、金霞、金墨描	130	23		
堯	96	堯胤	人しれず	和歌	「梶井法親王 人しれず」	打曇	130	50	B	
	97	堯圓	あかぬ哉	和歌	「皆明院殿堯圓 あかぬ哉」	打曇	130	70	B	
	98	堯孝	契あれや	和歌	「和歌所法印 契あれや」	打曇、金描	53	14		
	99		故郷の	和歌	「妙法院殿堯仁法親王 故郷の」	白地、金銀描、金墨霞	120	11		
暁	100	暁月	春の日の	和歌	「連歌師兼載法師 春の日の」	打曇、金銀描・金霞	46	27		
家	101		むかし誰	和歌	ごんげん様御筆跡	茶地、金銀描	54	7		
慶	102	慶運	ねにたてぬ	和歌	「和歌四天王内 ねにたてぬ」	素紙	53	28		
	103	慶信	おき出て	連歌	連歌師慶信宗匠(付箋)	打曇、金描	152	19		
	104	慶親	色にこそ	和歌	「中山殿 色にこそ」	打曇	130	74		
	105	慶祐	ちはやふる	和歌	「堺源光寺一向宗 宗柳弟子」	打曇	535	32		
経	106	経元	まれに逢	和歌	「甘露寺殿 まれに逢」	打曇	130	135		
	107	経厚	けふいくか	和歌	鳥居小路殿	打曇	170	16		
	108	経郷	霜とみる	和歌	「勸修寺殿 霜とみる」	打曇	120	97		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	109	経郷	野をとをみ	和歌	「勸修寺殿経郷卿 野をとをみ」	打曇	130	142		
	110	経名	秋かせも	和歌	「大炊御門殿」	打曇	130	35		
	111	経頼	いひよらむ	和歌	「大炊御門殿 いひよらむ」	金銀描	120	48		
	112	経頼	友千鳥	和歌	「大炊御門殿 友千鳥」	打曇	130	36		
兼	113	兼秀	草枕	和歌	「廣橋内府 草枕」	打曇	130	122		
	114	兼勝	めくるより	和歌	「廣橋殿 めくるより」	打曇	130	123		
	115	兼成	猿さけふ	和歌	「水無瀬殿」	打曇	130	106		
	116	兼統	雪残佳所絶織埃	漢詩	直江山城守	素紙	35	44		
	117	兼与	おくれしと	連歌	「短冊 おくれしと 猪苗代兼与正筆」	浅葱地、金銀描、金霞	39	28		
	118	兼良	おもふ事	和歌		打曇、金描・雲、墨下絵	53	9		
賢	119	賢房	さらに又	和歌	「万里小路殿」	打曇	130	144		
顕	120	顕言	いく春も	和歌	「山科黄門 いく春も」	打曇	130	113		
元	121	元光	たに川に	和歌	「武田殿元光 たに川に」	打曇	113	18		
	122	元信	染いたす	和歌	「武田殿」	打曇	32	45		
	123	元信	霧にとち	和歌	武田元信 信親ノ子	打曇、金銀描	32	46		
	124	元信	山川の	和歌	「武田殿元信 山川の」	打曇	113	17		
	125	元清	あし曳の	和歌	「三好家毛利備中守 あし曳の」	打曇、金描・霞	130	114	B	
	126	元長	さきそめて	和歌		打曇	47	11		
	127	元長	おもほえず	和歌	「甘露寺殿 おもほえず」	打曇	130	133		
	128	元長	花は根に	和歌	「甘露寺殿 花は根に」	打曇	179	139		
玄	129	玄以	ゆるされぬ	和歌		打曇	35	15		
	130	玄旨	このねぬる	和歌	「細川殿 号幽斎 このねぬる」	白地、金墨描	130	98	B	
彦	131	彦胤	かすむより	和歌	「梶井殿 かすむより」	打曇	130	51	B	
言	132	言経	あつき日も	和歌	「山科殿 あつき日も」	打曇	105	51		
	133	言継	かせ渡る	和歌	「山科殿 かせ渡る 勅題 正親町院」	打曇	179	11		
	134	言継	よそにして	和歌	「山科殿 よそにして」	打曇	130	115		
	135	言経	いかなりと	和歌	「山科殿 いかなりと」	打曇	130	117		
	136	言綱	霜やをく	和歌	「山科殿 霜やをく」	打曇	130	116		
	137	言國	いつよりか	和歌	「山科殿 いつよりか」	打曇	130	114		
	138	言緒	尋ねかね	和歌	「山科殿 尋ねかね」	打曇	130	118		
	139	言緒	契り置	和歌	「山科殿 契り置」	打曇	179	103		
後	140		ゆふあらし	和歌	「後宇多院 ゆふあらし」	素紙	49	32		
	141		思ふとち	和歌	「後円遊院 思ふとち」	打曇	53	68		
	142		またもこん	和歌	「後柏原院勾当内侍 またもこん」	打曇	113	15		
	143		おなし世に	和歌	「後小松院」	打曇	130	1		
	144		うき雲に	和歌	「後土御門院 うき雲に」	打曇	96	38		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	145		我はかり	和歌	「後土御門院 我はかり」	打曇	130	3		
	146		世の中の	和歌	「勾当内侍 後土御門院 世の中の」	打曇	78	3		
	147		いくさとを	和歌	「後土御門院勾当内侍 いくさとを」	打曇	122	8		
	148		草ふかみ	和歌	後奈良院	打曇、金銀霞・描	122	5		
	149		いまそしる	和歌	「後花園院勾当内侍 いまそ」	打曇	152	49		
	150		秋かせの	和歌	「後花園院」	打曇	130	2		
	151		むまれくる	和歌	「後伏見院殿 むまれくる」	素紙	54	98		
	152		時しらぬ	和歌	「後陽成院 時しらぬ」	金銀描	122	1		
	153		すゝしさは	和歌	「後陽成院 すゝしさは」	打曇、金銀描	122	3		
	154		生初て	和歌	「後陽成院 生初て」	打曇	130	8		
	155		春日野や	和歌	「後崇光院」	打曇	130	11		
公	156	公維	ことはりを	和歌	「徳大寺殿」	打曇	130	42		
	157	公遠	いまはとて	和歌	「四辻殿 いまはとて」	打曇	130	90		
	158	公音	明るよの	和歌	「四辻殿公音」	打曇	130	88		
	159	公兄	せく水の	和歌	「正親町三条殿 せく水の」	打曇	130	51		
	160	公彦	まかふへき	和歌	「今出川殿」	打曇	130	44		
	161	公古	みしか夜は	和歌	「滋野井殿」	打曇	130	85		
	162	公國	香久山に	和歌	公國公 三條西内大臣 号田智院(付箋)	打曇	47	13		
	163	公國	なれてしも	和歌	「西三條殿 圓智院」	打曇	130	57		
	164	公順	さすとみし	和歌	「西室殿」	打曇	152	37		
	165		せきの戸も	和歌	「西室公順 せきの戸」	打曇、金墨描	78	45		
	166		秋の田の	和歌	「西室殿 公順 秋の田の」	素紙	179	189		
	167	公助	あまならぬ	和歌		打曇	2	54		
	168		草も木も	和歌	「定法寺公助僧正 草も木も」	打曇、金銀描、銀霞	2	55		
	169		しくれゆく	和歌	「定法寺殿公助 しくれゆく」	打曇	120	17		
	170	公叙	君か代の	和歌	「正親町殿 君か代の」	打曇	130	98		
	171	公叙	花と見し	和歌	「正親町殿 花と見し 勅題 後奈良院」	打曇	152	50		
	172	公條	夕とて	和歌	「三條西殿 称名院 夕とて」	打曇	130	55		
	173		山桜	和歌	正親町三條公條卿(付箋)	打曇、金描・霞	179	81		
	174	公仲	見るまゝに	和歌	「正親町三條殿 見るまゝに」	打曇	130	53		
	175	公頼	深ふとて	和歌	「轉法輪殿 深ぬとて」	打曇	120	51		
	176	公頼	しくれゆく	和歌	「轉法輪殿 しくれゆく」	打曇	130	41		
	177	公頼	ならへては	和歌	「轉宝輪三條殿」	打曇	179	56		
光	178	光	となへをく	和歌	「烏丸殿光康卿 となへをく 光上字有」	打曇	120	94		
	179	光康	立のほる	和歌	烏丸殿光康	打曇	7	10		
	180	光康	誰にかは	和歌	「烏丸殿 誰にかは」	打曇	78	26		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	181	光廣	神風を	和歌	「烏丸殿 神風を」	打曇、金描	47	8		
	182	光廣	おほ空に	和歌	「烏丸殿 おほ空に」	薄茶地、金銀砂子、朱描	53	58		
	183	光康	誰か里に	和歌	「烏丸殿」	打曇	130	128		
	184	光宣	またれしを	和歌	「烏丸殿 またれしを」	打曇	130	129		
	185	光宣	春秋の	和歌	「烏丸殿 春秋の」	打曇	179	175		
	186	光豊	から衣	和歌	「勸修寺殿 から衣」	打曇	130	140		
高	187	高郷	秋きぬと	和歌	「蒲生 秋きぬと」	素紙	130	103	B	
興	188	興意	都をは	和歌	「昭高院殿 都をは」	打曇	130	61	B	
康	189	康親	秋の月	和歌	「中山殿 秋の月」	打曇	130	71		
孝	190	孝親	おきすゝき	和歌	「中山殿孝親卿 親ら文字切ル おきすゝき」	打曇	120	69		
	191	孝親	誰をとひ	和歌	「中山殿」	打曇	130	72		
	192	孝親	染すてゝ	和歌	「中山殿 染すてゝ 題冷泉殿為益卿」	打曇	179	84		
濟	193	濟継	おもひいる	和歌	「姉小路殿 おもひいる」	打曇、金描、布目	120	82		
	194	濟継	けさわけし	和歌	「姉小路殿」	打曇	130	8	B	
在	195	在数	わかさりし	和歌	「唐橋殿 わかさりし」	打曇	139	51		
策	196	策伝	神無月	和歌	「誓願寺安楽庵 神無月」	打曇、銀描	23	73		
三	197	三要	山青月白意難分	漢詩	(閑室元佶略伝貼紙)	打曇	23	2		
氏	198	氏政	秋の野も	和歌	氏政公	打曇	31	5		
	199		春くれは	和歌	「北條殿氏直公 春くれは」	打曇、金銀描	130	99	B	
資	200	資定	はかなくも	和歌	「柳原殿 はかなくも」	打曇	130	125		
	201	資定	露もいま	和歌	「柳原殿 露もいま」	打曇	179	130		
	202	資能	よひよひに	和歌	「綾小路殿 よひよひに」	打曇	130	17	B	
持	203	持為	すゝしさは	和歌	「下冷泉殿 すゝしさは」	打曇	47	4		
	204	持季	いそ枕	和歌	「正親町殿 いそ枕」	打曇	130	96		
	205		さく藤の	和歌	「細川殿持之 さく藤の」	白地、金銀墨描	78	49		
	206	持春	ほとゝきす	和歌	細川(付箋)	打曇	179	211		
	207	持徹	たつぬとも	和歌	「三井寺僧 徹書記門弟 たつぬとも」	打曇	130	75	B	
慈	208	慈運	みるほとを	和歌	「竹内殿御門蹟」	打曇	130	56	B	
実	209	実胤	はかなしや	和歌	「正親町壱槐 はかなしや」	打曇	130	97		
	210	実右	あきらけき	和歌	「小倉殿 あきらけき」	打曇	130	94		
	211	実右	うちなひく	和歌	小倉殿/従二位権大納言	打曇	512	39		
	212	実遠	明やらて	和歌	「西園寺殿 明やらて」	打曇	130	37		
	213	実條	あらし吹	和歌		打曇	113	28		
	214	実世	おもひやる	和歌	「三條西殿 三光院」	打曇	130	56		
	215	実福	言のはも	和歌	「三條殿 言のはも」	打曇	130	52		
	216	実隆	心あれや	和歌		打曇	53	10		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	217	実隆	なかき夜を	和歌	「三條西殿 なかき夜を」	打曇	130	54		
守	218	守光	ふるさとを	和歌	「廣橋殿 ふるさとを」	打曇	130	121		
	219	守武	うすミ火も	和歌		打曇	54	18		
珠	220	珠臨	しらゆふも	和歌	「堺阿弥陀寺浄土宗 宗訊弟子」	打曇	535	33		
秀	221		盃を	和歌	「金吾中納言殿秀秋 盃を」	雲母引	32	16		
	222		有明の	和歌	「金吾中納言殿秀秋」	打曇、金雲・描、墨画	35	1		
	223	秀政	寝つれねと	俳諧	泉州岸和田城主天正頃 五万三千石 小出播磨守秀政	打曇、金描・砂子・霞	157	28		堺長谷寺秀政か
	224	藤原秀直	未しらぬ	和歌	「富小路殿 未しらぬ」	打曇	130	1	B	
	225	秀房	高瀬さす	和歌	「万里小路殿 高瀬さす」	打曇	130	145		
	226	秀房	あちきなく	和歌	「万里小路殿 あちきなく 題飛鳥井殿雅綱卿」	打曇	179	75		
	227	秀房	たひ衣	和歌	「万里小路殿 たひ衣」	打曇	179	133		
	228	秀頼	むさし野は	和歌		緑地	532	75		写しか
	229		あすよりは	和歌	秀頼公	打曇、金銀描	508	3		
宗	230	宗因	むつましと	俳諧		打曇	49	25		
	231	宗	千のーツ	連歌	「堺人松井宗 千のーツ 有名」	打曇、墨流、金描	53	11		は門がまえに言
	232	宗	ことハりを	和歌	「今川殿 氏真法名 ことハりを」	打曇	53	32		は門がまえに言
	233	宗	打ちらす	和歌	「今川殿氏真公 御法名 打ちらす」	打曇	130	100	B	は門がまえに言
	234		おもひいる	和歌	「山崎住人 宗鑑 おもひいる」	素紙	130	133	B	
	235		わすれゆく	和歌	「山崎住人宗鑑法師 わすれゆく」	打曇	179	219		
	236	宗慶	花さかり	和歌	「鳥養隣松斎 花さかり」	打曇、金描	23	54		
	237		あらし吹	和歌	「鳥飼道雲軒 あらし吹」	打曇、金銀描	47	42		
	238		くもるよは	和歌	「鳥飼宗慶 くもるよは」	打曇	179	216		
	239	宗慶	別ては	和歌	「枚原安藝守 別ては」	打曇、金描	130	106	B	
	240	宗古	東路へ	和歌	浅野長政家臣上田宗古 茶人	打曇	46	47		
	241	宗綱	風なひく	和歌	「松木殿 風なひく」	打曇	130	59		
	242	宗札	けふといへは	和歌	「周防山口連歌師 宗祇弟子」	打曇	535	30		
	243	宗訊	とりかへす	和歌	「宗珀弟子 堺 等恵」	打曇	535	31		
	244	宗碩	みしは見し	連歌	「連歌師 みしは見し」	打曇	39	18	1	
	245	宗碩	吹なかず	和歌	「連歌師宗碩 吹なかず」	打曇	78	18		
	246		かこつと八	連歌	「連歌師宗碩 かこつと八」	打曇	39	18	2	
	247	宗全	難波かた	和歌	「牡丹花弟子 堺 宗全」	打曇	53	93		
	248	宗全	影とめす	和歌	牡丹花門弟宗全 肖柏流 連歌師 堺衆	白地、金描・霞	512	34		
	249		いさくら	和歌	「連歌師宗長 いさくら」	打曇、金描	7	7		
	250		物おもへは	和歌	「連歌師宗長 物おもへは」	打曇	130	131	B	
	251	宗超	秋かせの	和歌	(古市澄胤略伝あり)	素紙	46	43		
	252	宗超	老の身の	和歌		打曇	46	44		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	253	宗椿	したへとも	和歌	「牡丹花弟子 堺衆坂東屋」	打曇	53	94		
	254	宗椿	見しおりの	和歌	「牡丹花門人宗椿 見しおりの」	打曇	78	51		
	255	宗藤	ふりつもる	和歌	「松木黄門 ふりつもる」	打曇	130	60		
	256	宗珀	いまたにも	和歌	「堺連歌師 いまたにも」	打曇	78	54		
	257	宗牧	山風の	和歌		打曇、金銀描、金霞	53	37		
	258	宗牧	卯花や	連歌	連歌師孤竹斎宗牧	茶地、金描	508	27		
	259	宗養	花に明て	連歌	連歌師宗養 宗牧ノ男 専碩門人(付箋)	打曇	39	17		
	260	宗養	とゝめをく	和歌	「連歌師とゝめをく」	打曇、金銀描・霞	47	43		
	261	宗柳	常ならぬ	和歌	「堺衆 等恵弟子」	打曇	53	96		
周	262	周巖	游綿繰得上春衣	漢詩	「相国寺周巖和尚 游綿」	打曇	130	79	B	
	263		風雨夜生涼	漢詩	「義堂周信 風雨夜生涼」	打曇、金描	30	3		
重	264	重具	かけそめし	和歌	「庭田殿重具卿 かけそめし」	打曇	78	23		
	265	重通	旅ころも	和歌	「庭田殿 旅ころも」	打曇	120	71		
	266	重通	松杉の	和歌	「庭田殿 松杉の」	打曇	130	24	B	
	267	重経	夕風の	和歌	「庭田殿重経卿 夕風の」	打曇	78	24		
	268	重経	人よいかに	和歌	「庭田殿 人よいかに」	打曇	130	21	B	
	269	重賢	木陰には	和歌	「庭田殿 木陰には」	打曇	130	19	B	
	270	重治	とふ人の	和歌	「田向殿 とふ人の」	打曇	130	30	B	
	271	重治	いはし水	和歌	「田向殿 いはし水 勅題 後柏原院」	打曇	179	9		
	272	重親	こゝにしも	和歌	「庭田殿 こゝにしも」	打曇	130	22	B	
	273	重保	とひくやと	和歌	「庭田殿 とひくやと」	打曇	120	70		
	274	重保	雪のこる	和歌	「庭田殿 雪のこる」	打曇	130	23	B	
春	275	春	いく春か	和歌	細川持之 室町管領	白地、金描・霞	57	7		
俊	276	俊昌	はれわたる	和歌	「小川坊城殿 はれわたる」	打曇、金銀描、金霞	120	99		
	277	俊量	をろかなるを	和歌		打曇、金描	120	84		
	278	俊量	山を猶	和歌	「綾小路殿 山を猶」	打曇	130	16	B	
淳	279	淳光	吹かせに	和歌	「柳原殿」	打曇	130	126		
諸	280	諸仲	おもふこと	和歌	五辻殿 おもふこと 題名乗白短冊(付箋)	白地、金霞	120	112		
	281	諸仲	みそきする	和歌	「五辻殿」	打曇	130	27	B	
勝	282	勝秀	明ほのゝ	和歌	佐々木京極(付箋)	打曇	57	12		
	283	勝秀	千里まで	和歌	「千里まで 京極勝秀」	薄茶地	508	8		
	284	勝俊	ねにたてゝ	和歌	「若狭少将殿 ねにたてゝ」	茶地、金銀箔・描	32	21		
	285	勝俊	ゆふやみの	和歌		打曇	47	50		
	286	勝仁	聲さむく	和歌	「後柏原院 聲さむく」	打曇	130	4		
昌	287	昌休	神風も	連歌		白地、下絵刷	105	53		
	288	昌叱	四の時	和歌	「連歌師昌叱」	打曇	130	140	B	

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	289	昌琢	白菊は	連歌	此短冊正風蕉門道統七世東雲舎近湖所持ス 八世木兆え伝	薄茶地、打曇、金銀描、布	105	55		
	290	昌琢	萩の色に	連歌		薄茶地、金銀描・霞	39	3		
	291	昌琢	ちはやふる	和歌	「連歌師昌琢」	白地、金描	130	144	B	
尚	292	尚顕	いとはやも	和歌	「勸修寺殿 いとはやも」	打曇	130	137		
	293	尚通	いまはとて	和歌		打曇	53	57		
	294	尚通	夏の夜八	和歌	「近衛殿 夏の夜は」	打曇、金銀描	130	19		
紹	295	紹九	しはしまて	和歌	「連歌師 紹巴弟子 しはしまて」	白地、金墨描	78	17		
	296	紹恵	そよさらに	和歌	「二條関白左丞相尹房公法名 そよさらに」	打曇	130	26		
	297	紹尚	初雁の	俳諧		打曇、金描・霞	25	72		
	298	紹巴	年毎の	連歌	連歌師里村紹巴宗匠真蹟	素紙	53	30		
	299	紹巴	門田ゆく	和歌	「里村臨江齋 門田ゆく」	打曇	130	141	B	
称	300		逢坂の	和歌	「称光院 逢坂の」	打曇	53	67		
昭	301	昭實	身にそへる	和歌	「二條殿 身にそへる」	打曇	130	27		
	302	昭乗	うれしさは	和歌	「八幡山松花堂昭乘法印 うれしさは」	白地、金銀砂子、布目	130	87	B	
	303		暮ぬとは	和歌	松花堂筆	打曇、金銀描、銀霞	47	33		
	304		よしうかれ	和歌	「松花堂昭乗」	白地、金銀砂子、布目	96	24		
常	305	常胤	すむ影は	和歌	「妙法院殿 すむ影は」	打曇	130	54	B	
	306	常縁	ふりうつむ	和歌	「東下野守常縁 ふりうつむ」	打曇	113	13		
	307	常縁	くもをよそに	和歌	「東下野守 くもをよそに」	素紙	130	104	B	
	308	常禧	春雨の	和歌	「正親町三条殿 實雅公御法名 春雨の」	打曇	130	49		
	309	常弘	よそにさへ	和歌	「大館伊豫守殿 よそにさへ」	打曇、金銀描	130	102	B	
	310	常昭	なしかたき	和歌	土佐将監光起入道常昭 十如是之題 如是作	素紙	27	5		
	311	常房	うこかしな	和歌	「飯尾彦六左衛門尉 うこかしな」	打曇	130	112	B	
	312		道風佐理卿行成卿	一行書	「飯尾彦六左衛門尉常房 道風」	茶地	179	215		
浄	313	浄弁	ふか草の	和歌	「和歌四天王内 浄弁」	素紙	53	27		
	314	浄弁	をやまたの	和歌	「藤本法印 をやまたの」	素紙	130	91	B	
植	315	植家	しら露の	和歌	「近衛相国 しら露の」	打曇、金銀描	130	20		
	316		桜花	和歌	「近衛殿植家公 桜花」	茶地、金描	96	39		
	317		いかはかり	和歌	「近衛殿植家公御染筆 いかはかり神も」	茶地	96	40		
仍	318	仍覚	菊さきて	和歌	「西三條殿 菊さきて 題飛鳥井殿雅春卿」	打曇	179	58		
心	319	心敬	五月雨の	和歌	「連歌師心敬 さみだれの 竹林抄作者」	打曇	130	129	B	
信	320	信尚	くるゝをも	和歌	「鷹司殿 くるゝをも」	打曇	130	31		
親	321	親光	あふけ人	和歌	「蜷川殿 あふけ人」	打曇	113	20		
	322	親綱	この野へを	和歌	「中山殿 この野へを」	打曇	130	73		
	323	親綱	みねの雪	和歌	「中山殿 みねの雪 勅題 陽光院」	打曇	179	14		
	324	親忠	ほしかぬる	和歌	「蜷川蔵人親忠 ほしかぬる」	打曇	130	110	B	

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	325	親長	たちかへる	和歌	「甘露寺殿」	打曇	130	132		
	326	親當	かすむとも	和歌	蜷川親右衛門親當 足利義詮ノ臣 伊勢守	打曇	46	76		
	327	親當	草枕	和歌	「蜷川殿 草枕」	打曇	113	19		
	328		身そつらき	和歌	「蜷川新右衛門尉親當 身そつらき」	打曇	120	31		
仁	329	仁悟	軒ちかき	和歌	「円満院殿 軒ちかき」	打曇	130	64	B	
尋	330		風さむみ	和歌	「大乘院殿尋圓 風さむみ」	打曇、金描・霞	120	15		
瑞	331	瑞保	玉楼高築聳青天	漢詩	九十三世相国寺瑞長老	打曇	23	3		
政	332	政為	九重に	和歌	「下冷泉殿 九重に」	打曇	130	66		
	333	政家	うき事に	和歌	「近衛殿 うき事に」	打曇	53	56		
	334	政家	都にて	和歌		打曇、金銀描	508	5		
	335	政弘	をきまさる	和歌	「大内多々良政弘朝臣 をきまさる」	打曇	78	58		
正	336	正意	桑域従来道已東	漢詩	「短冊 堀正意正筆」	浅葱地、金描・砂子・箔	35	47		
	337		もゝしきの	和歌	「楠帯刀正行 もゝしきの」	楮紙、墨霞	32	35		
	338	正次	月と日を	和歌	小堀正次公 遠州公宗甫ノ父也	金銀砂子、金箔	53	34		
	339		浦八あかし	和歌	「正親町院 浦八あかし」	打曇	130	6		
	340	正暁	霜や見つ	和歌	「日比之正晃 霜や見つ 題徹書記」	打曇、金描	46	32		
	341	正廣	人もやは	和歌	「徹書記門弟 日比 人もやは」	打曇、銀描	130	128	B	
	342	正徹	おくふかく	和歌	「招月庵徹書記 おくふかく」	打曇	130	127	B	
	343		花の色の	和歌	「招月庵徹書記 花の色の」	打曇	120	41		
静	344	静覚	ちりのこる	和歌	「仁和寺殿 ちりのこる」	打曇	130	40	B	
清	345	清岩	木にもあらず	和歌	「二階堂出家清岩 木にもあらず」	打曇	130	86	B	
成	346	成之	山川の	和歌	「細川殿成之 山川の」	白地、好み	78	48		
	347	成之	半天に	和歌	細川成之候	素紙	78	60		
	348	成政	したひゆく	和歌	「佐々陸奥守」	打曇	47	49		
晴	349	晴信	秋かけて	和歌	「武田信玄 穰かけて」	打曇、金銀描	130	101	B	
	350	晴季	かりそめの	和歌	「今出川殿」	打曇	130	45		
	351	晴豊	ぬのさらす	和歌	「勸修寺殿 ぬのさらす」	打曇	130	139		
蜻	352		とし月も	和歌	「梶井殿蜻庵 とし月も」	白地、金墨描	120	12		
誠	353	誠仁	水上に	和歌	「陽光院」	打曇	130	7		
盛	354	盛興	玉ほこの	和歌	中臣祐春(盛興)(彦)	打曇	174	41		
	355	盛長	引むかふ	和歌	「東坊城殿 引むかふ」	打曇	130	34	B	
宣	356	宣胤	おもはぬに	和歌	「中御門殿 おもはぬに」	打曇	120	104		
	357	宣胤	春かけて	和歌	「中御門巫槐 春かけて」	打曇	130	148		
	358	宣秀	なに事も	和歌	中御門殿 なに事も 題名有短冊	打曇	120	105		
	359	宣秀	山人の	和歌	「中御門殿 山人の」	打曇	130	149		
	360	宣就	一むらの	和歌		打曇、金霞	53	46		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	361	宣親	そま人は	和歌	「中山殿」	打曇	130	70		
	362		和歌の浦や	和歌	「中山殿 宣親卿 和歌の浦や」	打曇	120	68		
詮	363	詮平	たなはたの	和歌	「賀茂鳥大路 たなはたの」	打曇	120	34		
前	364	前久	秋萩や	和歌		打曇	54	80		
禅	365	禅	一とせを	和歌	「轉法輪殿 實量公御法名 一とせを」	打曇	130	40		
素	366		秋はつる	和歌	光悦(ペン)	打曇、金描	21	1		角倉素庵力
	367		雲にまかふ	和歌		茶地、金描・霞	34	2		角倉素庵力
	368		遥なる	和歌	「角倉与一 遥なる」/角倉与一	打曇、金描	49	3	1	
	369		ありはてぬ	和歌	「角倉与一 ありはてぬ」/角倉与一	白地、金銀描	49	3	2	
	370	素珊	いつまでか	和歌	「東野州息尚胤 法名素珊筆」	打曇	130	105	B	
宋	371	宋世	さらに又	和歌	「飛鳥井殿二楽軒宋世 さらに又」	金霞、金墨描	47	9		
	372	宋世	かくしあらは	和歌	「飛鳥井殿雅康卿 法名 かくしあらは」	打曇	120	58		
	373	宋世	かはるなよ	和歌	「飛鳥井殿庶流二楽軒 かはるなよ」	打曇	130	82		
尊	374	尊応	むすひをく	和歌	「青蓮院殿 むすひをく」	打曇	130	45	B	
	375	尊雅	よつの時	和歌	「積善院僧正尊雅」	打曇	130	68	B	
	376	尊海	ふかき夜に	和歌	「慶福院殿 近衛殿植家公北室」	白地、墨下絵	179	123		
	377	尊政	おもへ猶	和歌	「一乗院殿 おもへ猶」	打曇、金描	130	66	B	
	378	尊朝	よそにしも	和歌	「青蓮院殿 よそにしも」	打曇	130	48	B	
	379		風わたる	和歌	尊朝法親王(付箋)	紅地	179	205		
	380	尊鎮	さかは今	和歌	「青蓮院殿 さかは今」	打曇	130	47	B	
	381	尊傳	出しより	和歌	「青蓮院法親王 出しより」	打曇	130	46	B	
	382	尊道	山かせの	和歌	尊道法親王(エンピツ)	打曇	6	17		
知	383	知仁	山たかみ	和歌	「後奈良院 山たかみ」	打曇	130	5		
智	384	智蘆	くる春も	和歌	蜷川親右衛門(付箋)	打曇	46	75		
	385	智仁	おもひきや	和歌	「八條殿 おもひきや 題良恕法親王」	打曇	120	2		
忠	386		青柳の	和歌	「九条殿忠栄公 青柳の」	金描・砂子、銀雲	78	50		
	387	忠郷	花の枝も	俳諧	「蒲生殿」	打曇、金銀描	47	47		
	388	忠富	ふくるよも	和歌	「白川殿 ふくるよも」	打曇	130	12	B	
	389	忠富	沖にひく	和歌	「白川殿 沖にひく」	打曇	179	64		
長	390	長諳	めくみある	和歌	「楠長諳」	打曇、金描・霞	32	44		
	391	長栄	つれなさは	和歌	山門小納言(付箋)	打曇、金銀描	78	38		
	392	長雅	なにとたゝ	和歌	「高辻殿」	打曇	130	31	B	
	393	長慶	いつまでと	和歌	「三好殿修理大夫長慶 いつまでと」	打曇	130	107	B	
	394	長嘯	久方の	和歌		白地、金描・砂子・霞	35	4		
	395	長淳	よしの川	和歌	「東坊城殿 よしの川」	打曇	130	33	B	
	396		した水も	和歌	「浅井長政 した水も」	打曇	34	48		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
澄	397	澄胤	いく秋の	和歌	「古市播磨守 いく秋の」	素紙	130	109	B	
直	398	直國	尋かね	和歌	「長州二宮大宮司」	打曇	535	29		
通	399		梅かえに	和歌	「小野於通女筆」	打曇、金箔、銀描	46	99		
	400	通胤	あかすのみ	和歌	「中院殿 あかすのみ」	打曇	120	52		
	401	通胤	五月やみ	和歌	「中院殿 五月やみ」	打曇	130	46		
	402	通言	うき世をは	和歌	「久我殿」	打曇	78	96		
	403	通言	うき世をは	和歌	「久我殿廣通公御筆 うき世をは」	金描・砂子	120	47		
	404	通秀	あらかと	和歌	「中院殿 あらかと」	素紙	47	1		
	405	通秀	峯の松	和歌	中院殿通秀卿	素紙	47	2		
定	406	定熙	かたらはむ	和歌	「花山院殿」	素紙	78	91		*はニスイに熙
	407	定熙	けふも又	和歌	花山院殿 けふもまた 題名乗短冊(付箋)	打曇	120	50		*はニスイに熙
貞	408	貞常	いのり来て	和歌	伏見殿 午八	打曇	78	31		
	409	貞常	夜半に吹	和歌	「伏見殿」	打曇	130	12		
	410	貞敦	すえつ井に	和歌	「伏見殿 すえつ井に」	打曇	130	14		
	411		すまの浦や	和歌	「伏見殿貞敦親王 すまの浦や」	素紙	152	33		
	412	貞林	よしさらは	和歌	「宇都宮貞林 入信長龍 よしさらは」	打曇	130	113	B	
諦	413	諦空	貝のこ糸	和歌	「轉宝輪三條殿實香卿 御法名 貝のこ糸 勅題 後奈良	打曇	179	10		
天	414	天海	花をめつる	和歌	「天海大僧正 号慈眼大師 花をめつる」	白地、金描	130	67	B	
淀	415		忍ふれと	和歌	「秀頼公御袋様」	打曇、金銀描	508	4		
藤	416	藤王丸	いつくかと	和歌	九條殿御童名(付箋)	打曇、銀霞	120	43		
冬	417	冬房	かくれみぬ	和歌	「万里小路殿」	打曇	130	143		
等	418	等貴	たのめつゝ	和歌	「相国寺万松院 たのめつゝ」	打曇、金銀描	130	80	B	
	419	等恵	さきそむる	和歌	「堺衆 牡丹花弟子」	打曇	53	95		
道	420	道永	さきそめて	和歌	「仁和寺殿 さきそめて」	打曇	130	41	B	
	421	道永	身ひとつに	和歌	「仁和寺殿 身ひとつに」	打曇	179	196		
	422	道応	うかひいてし	和歌	「聖護院殿 うかひいてし」	打曇	130	59	B	
	423	道欽	夕立や	和歌	「伏見殿 夕立や」	打曇	133	2		
	424	道堅	啼わたる	和歌	「岩山民部少輔尚宗 法名道堅 啼わたる」	打曇、銀描	32	47		
	425	道堅	わか宿の	和歌	「岩山道堅 わか宿の」	打曇	130	111	B	
	426	道増	春穰も	和歌	「聖護院殿 春穰も」	打曇	130	60	B	
	427	道澄	けふに明て	和歌	「聖護院殿 けふに明て」	白地、金描・霞	152	69		
	428		さゝ波や	和歌	「照光院殿道澄 さゝ波や」	金墨描下絵	179	206		
	429	道標	波かせの	和歌	「蜷河新右衛門親長入道 波かせの 題氏真」	打曇	78	4		
徳	430	徳元	ちりとんた	俳諧		浅葱地、金描・砂子・霞	157	25		
頼	431		ふけぬとて	和歌	「頼阿法師 ふけぬとて」	白	15	31		
内	432	内基	寒き夜も	和歌	「一條殿 寒き夜も」	打曇	130	29		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
忍	433	忍誓	はるや千世	和歌	「顕松院 忍誓 はるや千世」	打曇、金銀描・霞	2	46		
	434		江はものふかし	連歌	「連歌師忍誓 江はものふかし」	打曇	39	22		
白	435		をきとめす	和歌	「東寺金勝院白清 をきとめす」	打曇	120	40	2	
範	436	範以	をとはやま	和歌	「今川範以 をとはやま 氏實息」	打曇	32	31		
	437	範以	見ぬ花や	和歌		打曇	57	9		
	438	範久	山のはに	和歌	「南家高倉殿」	打曇	130	5	B	
	439	範文	鶯とりの	和歌	「高倉殿 鶯とりの 題後奈良院」	打曇	179	12		
富	440	源富仲	すみそめの	和歌	五辻殿 すみそめの 題名乗短冊(付箋)	素紙	120	111		
	441	富仲	をく琴に	和歌	「五辻殿 をく琴に」	打曇	130	26	B	
牡	442	牡丹花	たをりこし	和歌	「牡丹花 たをりこし」	打曇、金描	130	130	B	
邦	443	邦高	こゝろをく	和歌	「伏見殿 こゝろをく」	打曇、金砂子	120	1		
	444	邦高	かり人は	和歌	「伏見殿 かり人は」	打曇	130	13		
	445	邦房	春の夜も	和歌	「伏見殿 春の夜も」	打曇	130	15		
本	446	本	所から	和歌	「毛利殿輝元 所から」	打曇、金銀描・霞	41	15		
満	447		めくりあひて	和歌	「知恩院満誉上人 めくりあひ」	打曇、金銀描	120	21		
妙	448	妙椿	此寺の	和歌	斉藤妙椿(エンビツ)	打曇	53	35		
無	449	無名翁	日にそへて	和歌	「岡本半助 入道喜庵 日にそへて」	茶地、金銀描、金砂子	67	16		
	450		千とせ経て	和歌	無名翁 彦根 岡本半助	打曇	95	36		
木	451	木食	見しきかし	和歌	「高野山木食応其上人 見しきかし 無言房二入歌」	打曇、金銀描、金霞	130	85	B	
有	452	有継	月影も	和歌	「六條殿 月影も」	打曇	179	190		
友	453	友閑	奥や猶	和歌	藤田友閑 松花堂ノ門	楮紙	47	35		
祐	454	祐夏	みそきする	和歌		素紙	53	29		
	455	祐夏	吹かせの	和歌	「鴨 吹かせの」	素紙	130	92	B	
	456	祐守	したそめの	和歌	「賀茂祐守 したそめの」	素紙	130	93	B	
輔	457	輔房	夕暮は	和歌	「万里小路殿 夕暮は」	打曇	130	147		
陽	458	陽光	えならずよ	和歌	陽光院誠仁親王(ペン)	薄茶地、打曇	117	57		
頼	459	頼恵	月を見し	和歌	「東大寺別当頼恵権大僧都 月を見し」	打曇、金銀描	2	67		
懶	460	懶斎	うへをきて	俳諧	「妙心寺 鉄山和尚」	打曇、金銀描	23	5		
利	461	利政	しけり行	和歌	「連歌師玄的筆 しけり行」	打曇、金銀描	152	39		
隆	462	隆永	未かけて	和歌	「四條殿 未かけて」	打曇	120	55		
	463	隆永	うき事は	和歌	「四條殿 うき事は」	打曇	130	112		
	464	隆康	うき身をも	和歌	「鷲尾殿 うき身をも」	打曇	130	110		
	465	隆康	おりしもあれ	和歌		打曇	179	23		
	466	隆尚	あたにしも	和歌	「鷲尾殿 あたにしも」	打曇	130	111		
	467		日とよ成とも	小唄	「堺住隆達 日とよ成とも」	白	20	8		
龍	468	(印)	罷釣帰事不繫船	漢詩	「東福寺龍吟院龍喜和尚 罷釣帰事云々」	打曇、金銀描	23	21		

短冊目録(鎌倉～桃山)

索引	番号	署名	初句	分類	後書・極書(抄出)	料紙	帖	番号	枝番	備考
	469	龍山	あさからぬ	和歌	「近衛殿 前久公御法名 あさからぬ」	打曇、金描	130	21		
	470	竜伯	千種さく	和歌	「嶋津殿義久公 御法名」	打曇、金銀描	508	2		
良	471	良誉	心なき	和歌	「一乗院殿良誉 心なき」	打曇、金銀描	130	65	B	
和	472	和長	いをねぬに	和歌	「東坊城殿」	打曇	130	32	B	
不明	473		中々に	和歌	七州守大内殿	打曇、金銀描	32	18		
	474		月みれは	和歌		打曇、金箔・砂子、下絵	179	19		

凡例

- 1 本目録は署名の音読みによって五十音順に配列しています。また、署名のないものについては、極書や後書の筆者比定に従って配列しています。
- 2 本目録にはおおむね鎌倉～桃山時代の短冊と判断されるものを掲載していますが、年代については今後の研究によって前後する可能性があります。
- 3 極書が付属している場合は、後書・極書欄に「」で記しています。また、(エンピツ)(ペン)とあるものは、裏面の鉛筆書き、ペン書きの内容を抄出して記しています。
- 4 料紙欄には各短冊のおおまかな特徴を記しています。